

# 廣讚寺

ジャーナル

第164号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052)411-5301

FAX (052)411-5341

携帯 090-1568-4623

(E-mail)

matsuoka@kosanji.or.jp

## 閑話休題

井上 淑

虚弱体質だった私が、長くゆっくり走ったり歩いたりすることで持久走が得意になり、卒業後はそれはいかした職業の道に進むことになりました。

大会出場は、50歳から35年で356回。5キロ、フル、ウルトラの各マラソン、陸上トラック競技、長距離ロードバイクと多種目にわたります。

ところが、昨年1月の大会以来、コロナ禍のため全てのマラソン大会が中止になりました。

アルバムの記録は空白が続き、さみしい限りです。コロナの影響で、外出も合同練習、会合も自粛。目

標だった月間1

00キロのトレ

ーニング総走歩

距離は、意欲の

減退で達成がむ

ずかしい。最近

は2キロほど体

重が増え、ポツ

チャリ感が出て

きました。

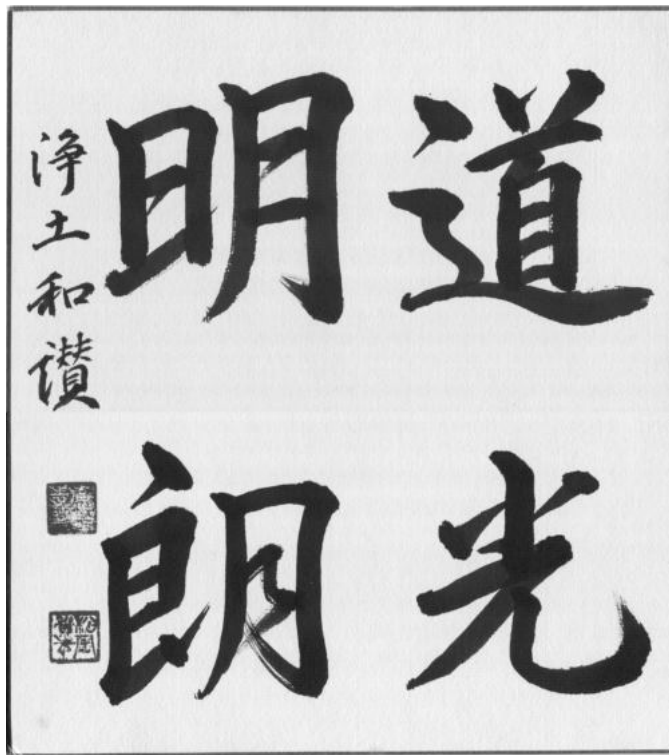
その影響か、動きも緩慢になり、明確な目標や段取りがとれず、決断力も乏しく、達成感に浸ることができなくなりました。

人生100年時代、このままでは終われない。コロナ禍があけた暁には、もう一度スタートラインに立つ願いをこめて、日々努力したいと思います。



## 道光明朗

「道光明朗」という言葉は、曇鸞どんらんの『讚阿弥陀仏偈』の中に記されている言葉です。親鸞聖人においては『教行信証』に引用されており、また和讃にも「讚阿弥陀仏偈和讃」として所収されています。



その和讃とは「道光明朗超絶せり 清浄光仏ともうすなり ひとたび光照かぶるもの 業垢をのぞき解脱をう」とあり、「道光明朗」とは「仏道のさとりから放たれる光は明るく朗らかで」あって、超絶的に勝れているから阿弥陀仏の別名を「清浄光仏」と申すと続いています。「清浄光仏」とは十二種の光にたとえて阿弥陀仏をほめる名の一つですが、種々のはたらきによって誰にでも届く撰取不捨の阿弥陀仏を讃えているのだということです。

そこで、親鸞聖人はさらに詳しく「道光明朗超絶」というのは阿弥陀如来なり」と註釈してくださいませ。つまり、この「道光明朗」とは、私たちが「南無阿弥陀仏」と口に称えていくその生活が明るく朗らかなる道となっていくことを教えられ、この言葉に触れる皆様の手を合わせる生活を続けてくださることを念じます。

## 『歎異抄』

## — 耳の底に留まるところ(2) —

田中智教

先月号の『歎異抄』—歎異は私に届くマインド(1)—に引き続き、『歎異抄』について寄稿しますが、前回どうしてもふれておきたかったことが『歎異抄』の構成として大きく2つの「師訓篇」しくんへんと「歎異篇」たんにへんに分かれており、その「師訓篇」とは親鸞聖人が語られたことを著者の唯円が直接聞いた語録であるということである。『歎異抄』の冒頭、「師訓篇」の前の「前序」の部分に、唯円がこの言葉を記しています。

故親鸞聖人御物語之趣（こしんらんしょうにんおんものがたりのおもむき）、

所留耳底（みみのそこに とどまるところ）、聊注之（いささか これをしるす）

（『真宗聖典』六二六頁）

親鸞聖人が仰せられた教えで唯円自身の耳の底に留まっただけで忘れられない言葉を記したということから始まります。それは、親鸞聖人が仰っていたことをきちんと忘れないように聞いたことでありましょうが、それ以上に、その教えの真实性に深く頷くことができ、この教えこそが正しい教えであると確信したということではないでしょうか。ですから、一度聞いたような内容であっても、忘れようにも忘れることのできない一生涯を貫く教えが耳の底に留まっておるといふことだと思えます。

仏教の伝統は基本的に「聞く」ことによって伝統されてきました。『仏説無量寿経』も「我聞如是がもんによせ（私はこのように聞きました）」という言葉から始まります。そして、その経の中に「耳根清徹じこんせいてつ」という言葉が記されていますが、正しい教えを「聞く」ことによって真实性に目覚めていく、あるいは、人生が豊かなものに

なっていくと理解しても良いと思います。つまり、経を「説く」ことよりも「聞く」ことによって相続されてきたと言ってもいいと思います。それほどまでに「聞く」ということが重要であると教えられます。唯円は親鸞聖人から聞いた。親鸞聖人は法然上人から聞いた。法然上人は直接ではないが善導から聞いたというように、聞いた者によって相続されてきた正しい教えが念仏の教えなのです。その伝統に連なる道に立っている私たちは、唯円を通して親鸞聖人の教えを「聞く」ことができているのでしょうか。また、自身の人生を貫くような聞き方ができているのでしょうか。まずは唯円の姿勢を通じて『歎異抄』を「聞く」私たちの態度が問い直されます。(完)

### 行事予定

十月二十八日(木) 十時 親鸞聖人命日のお勤め

十一月二・三日(火・水) 十時 報恩講(昨年同様、  
少人数で内勤め)

十一月二十八日(日) 十時 親鸞聖人命日のお勤め

### 【20組 行事予定】

今年のご命日のつどいは中止

